

南武のタイ拠点

建屋拡張し設備増強
19年6月期も売上35%増に



足立琢哉社長

金型用油圧シリンダの南武(野村伯英社長)のタイ拠点のNAMBU・CYL・タイランド(アマタナコーン工業団地、足立琢哉社長)は、タイ国内とインド・アセアン市場での増販に備え設備を増強する。建屋を800平方メートル拡張し、MC1台とNC3

増強予定の生産ライン



台を据え付ける。建屋増築は、6月初めに完成済み。9月をめどにMC1台とNC1台(更新)を設置する。その後、2020年初めにNC2台を更新する。現有マシンは、MC3台、NC8台。

2019年6月期の売上高は、2億1,600万バーツ(前期比35%増)の見込み。35%増は、2年連続となる。2020年6月期売上高も同程度の伸びを見込んでいる。

売り上げシェアは、タイ国内60%、海外40%。タイ国内の売り上げシェアは、ローカル70%、日系30%。日系は、スズキ、ホンダ向けがメイン。

現従業員数は、67名。入社10年以上が、約半数を占め、うち15年以上は、6名を数える。6年前から日本研修制度をスタートさせ、毎年3名を送り出している。